

大阪 あちこち

●ハニワ工場公園(史跡新池埴輪製作遺跡)

高槻市の西部丘陵地に、真の継体大王陵といわれる今城塚古墳に埴輪を供給した、新池遺跡があります。

発掘調査により5～6世紀の埴輪窯18基、埴輪工房3棟、埴輪工人たちの竪穴住居14棟などが発見され、わが国有数の埴輪製作遺跡であることが明らかになっています。

ここでつくられた埴輪は、太田茶臼山古墳(茨木市)や今城塚古墳など、大王陵級の古墳へ供給されました。当時のヤマト王権直営の埴輪工場ともいえます。

埴輪窯などの生産遺構は全国90遺跡以上で確認されていますが、大規模埴輪生産の実態や供給先が明らかになっているのは、この新池遺跡だけです。また『日本書紀』欽明天皇23年条に「摂津国三島郡埴廬(せつつのくに-みしまのこおり-はにいほ)」としてその名をとどめるなど、埴輪製作地としては他に類をみない貴重な遺跡です。

平成3年に国史跡に指定され、復元整備を経て平成7年から「ハニワ工場公園」の愛称で一般に公開されています。見どころは窯と工房の復元や、マンガ陶板・復元埴輪によるガイダンス、さらに発掘した実物の窯を観察できる「ハニワ工場館」など。

子どもから大人まで、分かりやすく古代の埴輪づくりの様子を学べる史跡公園として、また憩いの場として親しまれています。毎年初夏には「ハニワづくりとスケッチ・ぬり絵大会」が開かれ、多くの親子連れでにぎわいます。

○ハニワ工場公園

所在地：高槻市

上土室1丁目

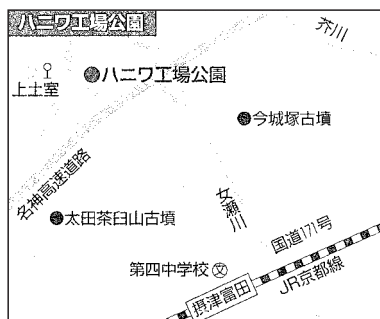
料金：無料

ハニワ工場館

(072-695-8274)

は10時～17時、

年末年始のみ休み



○ハニワ工場公園全景

地形を巧みに利用して斜面に埴輪窯が築かれ、丘陵上には埴輪工房が並んでいました。復元整備では、5世紀中頃、3基の窯と3棟の工房から始まった「ハニワ村」再現を目指しました。



○18号埴輪窯

発掘して保存処理をほどこした18号埴輪窯を、覆屋内で直接観察できます。斜面をトンネル状に掘り抜いた地下式窯で、内部には炭や焼土、埴輪片が10層・約1mも堆積していました。今城塚古墳の埴輪を焼いた最大級の窯のひとつです。

▼お問い合わせ先▼

高槻市立埋蔵文化財調査センター

TEL 072-694-7562

FAX 072-692-4313